25

「虫入り琥珀（こはく）をみがこう」

★　どんな実験かな？

大昔の松ヤニが固まって、化石に成った石を「琥珀（コハク）」と言います。

このコハクの中には、昔の虫が閉じこめられたものがあります。

コハクの中のゴミのようなものを顕微鏡で拡大するとそれが虫であることがわかります。ども、コハクのままでは、観察しにくいので、コハクの片面をぴかぴかにみがきます。そうすれば、コハクが透き通って、中の虫がよくみえます。

★ 用意するもの

①虫入りのコハク
（クリスタルや鉱石を取り扱っている店で購入します）

②サンドペーパー
（水ペーパーであらいもの、水ペーパーで細かいもの、２種類を用意する）

③双眼実体顕微鏡

④水と容器

⑤ティッシュペーパー

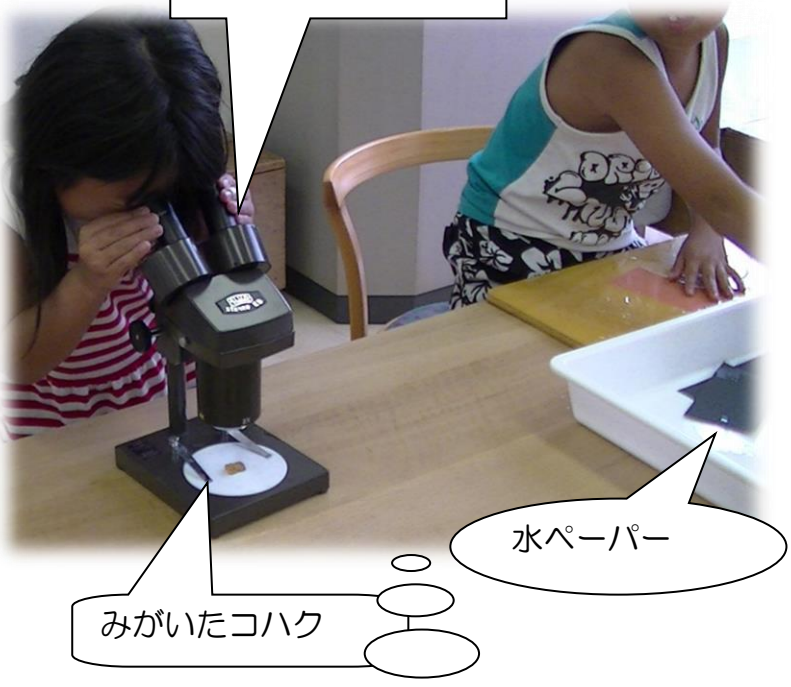
★　実験の方法

①コハクをペンチで、適当な大きさにカットします。

②数個に分解したものの中で、ゴミが入っているコハクをまず、あらいペーパーで、みがきましょう。先に、ヤスリで表面を整えておくといいでしょう。

③あるていど、みがけたら、こまかいペーパーで、つるつるにします。中のゴミがよく見えるまで、みがきましょう。

④みがいたコハクを顕微鏡で見てみましょう。もし、「蚊」であれば、羽まで、よくみえると思います。



１００万年前の虫が見えるかな？羽までくっきり見えるよ。これは、アリかな？

★ 注意すること

①　実験後は、十分に手を洗うこと。